

三河地域

夏キャンプをリベンジ、仲間との思い出づくり

豊田地区地区 豊田第15団 カブ隊長 大竹正訓

豊田15団の夏キャンプは、遡ること1年前、コロナ第7波のピークを迎える中、開催数日前に宿泊中止やプログラム縮小と言った苦渋の決断をしました。それから1年後、猛暑日が続く台風や豪雨も懸念される中、8月26～27日に豊田市内の神越溪谷で夏キャンプを無事に開催しました。(くまスカウトはテント泊、しかとうさは舎営、ビーバーは日帰りにて実施)途中、雷雨などのハプニングも含めてキャンプ生活の一つ一つが、今回テーマでもある仲間との思い出づくりになったかと思っております。

また、コロナ渦から元の生活に戻りつつある転換期での出来事として、スカウト達が大人になっても記憶に残る思い出の一つになればとも願っております。



暑い夏を吹き飛ばせ

穂の国地区 新城第3団 カブ隊長 中尾充洋

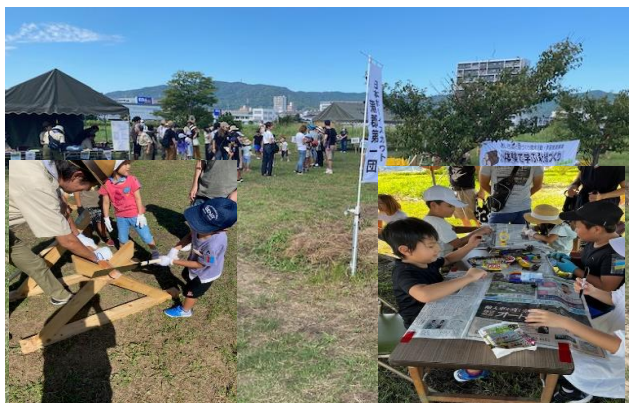
8月19日(土)～20日(日)、カブ隊はコロナ禍で再三の延期になっていた夏季舎営を東栄町三河オートキャンプ場で開催しました。キャンプ場に流れる大千瀬川で7月の隊集会で工作した灯笼船でのレースや野外調理、花祭り会館の見学など、様々な体験をすることが出来ました。また野外調理中に、突然の雷、土砂降りに遭遇するアクシデントもあり、バンガローの中で営火、隊長夜話を神妙な顔つきで聞き入っていました。生涯、忘れることない夏季舎営になったことでしょう。



「体験で学ぶ森と緑づくり」開催！

三河葵地区 蒲郡第1団 BS副長 RS小田耕平

令和5年9月24日(日)心地よい秋風の中、蒲郡市竹島ベイパークで、愛知県環境局の事業「体験で学ぶ森と緑づくり」が行われ、市内から38名もの子供たちが参加してくれました。参加者たちは4つ組に分かれ、モンキーブリッジや工作、丸太切り、観察ビンゴを順番に体験しました。モンキーブリッジを何回も挑戦する子、ビンゴをコンプリートできるよう競う子達など、皆に楽しんでもらう事ができました。終了後には、「もっとこういう活動がしたい！」との言葉を多く聞くことができました。今後の入隊に繋がり、団がさらに活性化していけば嬉しいです。



森と緑づくり事業

碧海地区 知立第1団 組織・拡充委員 鈴木常公

8月19日(土)刈谷わんさか祭りにて、「体験で学ぶ森と緑づくり」と題して、モンキーブリッジ、宝探し、丸太切りの体験のイベントを実施しました。大変暑い昼間の実施にもかかわらず、100名程度の方にご参加いただきました。モンキーブリッジは大変人気で何回も渡る子供たちもいました。丸太切りでは初めてのこぎりを扱う子供も多かったですが、丸太が切れていくのを楽しみました。

このような体験会を通してボースカウトに興味を持ってくれる子供たちが増えればよいと思います。

